

# 駒の館だより

明治鍼灸大学図書館報

第19号

平成12年3月1日 発行

明治鍼灸大学附属図書館

〒629-0392 京都府船井郡日吉町

TEL.0771-72-1181(代)



## 目次

- |                                      |              |
|--------------------------------------|--------------|
| ① 2000年を迎えて                          | 小林和子         |
| ② 祝 卒業<br>自著を語る                      | 江川雅人<br>中村 清 |
| ③ 祝 入学<br>私のお薦めの一冊                   | 福田耕治<br>市川 哲 |
| ④ <b>特集1</b><br>「Global standard の波」 | 勝見泰和         |
| ⑤ <b>特集2</b><br>鍼は道楽？                | 篠原昭二         |
| ⑥ 新着図書案内一覧                           | 附属図書館        |
| ⑧ 図書館からのお知らせ                         | ／            |
|                                      | ／編集後記        |



## 2000年を迎えて

附属図書館長 小林和子

今年、20世紀の終わりでもあり21世紀への始まりでもあるという、終わりの始まりの年です。

20世紀は生命科学の時代といわれてきましたが、21世紀は情報の時代といわれています。生命と情報とは深い関係にあります。情報の伝わり方が脳とコンピューターではよく似ているといわれています。また、生命の素である遺伝子の本体はDNAで、この中に生命体の情報が暗号として収められています。

DNAには、ふたつの役割があります。ひとつは、大切な情報をしっかり保存し正確に次世代に伝えること、もうひとつは、生命体自身が生きていくために必要な生体内の物質を作り出すことです。

書物は人生の楽しみであり、生きていくために必要な大切な情報を与えてくれるものです。また、個人ひとりで情報が完結するのではなく、他人に情報を伝えることによって他人と知識を共有できるものです。これは、DNAの役割に似ています。大切な情報を持つ

書物は、人間社会におけるDNAといえるでしょう。現在、本や雑誌を紙に印刷された形ではなく、電子図

書としてパソコン等の画面上で見られるようになります。

でも、進化によって形は変化しても根本的な役割は変わらないDNAのように、書物の役割は変わらないのではないのでしょうか。

図書館は、DNAを保存する細胞内の核のようなものです。図書というDNAが情報として有意義に利用されるように、環境を整えていきたいと思えます。



アルニカ(薬草)

学名 Arnica montana L.  
キク科

日本の高山植物の一つです。多年草で、花と根を薬草材料として用いられ、多彩な効能があります。  
(効能)  
食欲増進・利尿・浄化・解熱・痰の除去・外傷の組織回復等

**祝 卒業**  
臨床鍼灸医学教室 江川 雅人

「道を行け」



卒業を間近に迎えると4年生の表情には希望の光と同時に大きな不安の色が見え始めます。何気なく過ぎてきた4年間の知識を糧に社会に送り出される不安でありましょう。

いつも隣にいて相談に乗ってくれた友や先生と離れ、心の孤島で生き抜く決心に迫られるのだと思います。学舎から送り出す側として心より健闘をお祈り申し上げます。と共にこれからの人生が明るく開けていることを信じて欲しいと思います。

卒業してまず最初に感じることは「如何に自分が勉強不足であるか」ということです。色んな人と出会い、様々な角度から鍼灸を問いただした時に己の知識と技術の無さを痛切に感じることでしょう。けれども、少しも焦ることはありません。講義中には何気なく開いて

いたテキストやプリントをもう一度開いて下さい。まるで綿が水を吸う様に知識が入ってくる筈です。その時こそ、初めて生きた勉強が出来るものと思います。それでも分からない時は・・・あなた（の両親）がしてくれた4年間の授業料はあなたの一生分の学費であると思って、いつでも大学に問い合わせして下さい。卒業式と謝恩会であなたの笑顔を思い出しながら私達は卒業生の問いにいつまでも応えて行きたいと思えます。また、同窓会である「たには会」を通して近くの先輩方も助言をくれることでしょう。そうです、あなたは一人きりではありません。いつでも守られているのです。安心して己の道を行くことができます。

「この道を行けばどうなるものか。戸惑うなかれ。戸惑えば道は無し。踏み出せばその一足が道となる。迷わず行けよ、行けば分かる。」この言葉は猪木寛至氏の道場訓です。恐れずに前を向きあなたの道を切り開いて下さい。



**自 著 を 語 る**  
外国語教室 中村 清

アンドレ・ピシヨ

「科学の誕生」

（翻訳書）のこと

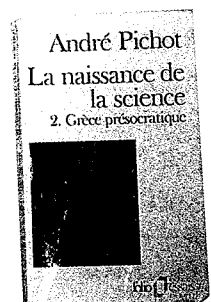
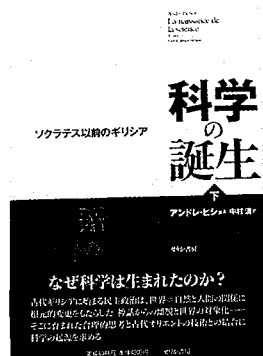


巷に超訳という翻訳小説が出回っています。英意和訳ということだとか。原著に無い描写や、創作した会話文が挿入されています。これも意識という翻訳技術の一つかもしれません。翻訳の半分は翻訳者の創作とも言えるでしょう。原文の理解とそれを良い文章で表現したか、という創作です。

本書は「科学の誕生」というフランス語からの翻訳書です。原著は、どうして古代ギリシアで科学が初めて生まれたのかを問う科学史的研究書です。それについての著者独自の見解は特に終章にあります。私が本書の翻訳を引き受けた理由の一つは、珍しくヒポクラテスが取り上げられている点でした。この書の特徴は原典が数多く紹介されていることで、ヒポクラテスもそうです。

科学書の翻訳に超訳はありえません。少なくとも事

実と推定の区別は必要です。しかしそれでも2400年も時が経つと言葉の意味や用法は変わり、また読むほうの解釈もずれてくるのはしかたありません。それを意識するならどんな言葉で現代人にも「わかる」文にするかが問題です。例を挙げます。ヒポクラテスの章の冒頭に掲げてある箴言の一節：「生命は短く、芸芸は長い。」これを人間の一生は短いが、芸術作品は長く後世に残る、と解釈するのは現代人、それも日本人だけの意識かもしれません。医聖ヒポクラテスは、医術の道を修めるのには長い苦勞と努力が必要だと言ったかったようです。また「哲学する医師は神に近し」と言っていますが、実はこれは将来の医学を含め、医術における科学的（哲学的）思考の必要性と重要性を指摘し、それができればすぐれ者だと言うのです。これもやはり科学的医学の原点を示している一句です。



# 祝 入 学

第二生理学教室 福田 耕 治

## 知識と知恵、そして背伸びのすすめ



入学おめでとう。入学直後は気の合う友達を作ることがはじめの仕事になるのでしょ

う。始まった講義は耳慣れない言葉で、何に役にたつか分からないと面食らいます。講義の大枠が理解できれば、その

うちにその内容に関するある程度の理解を得るだろうという自信が大切です。いくら嘔ん(咀嚼)でも飲み込み(嚥下)にくい食べ物でも、思い切って嚥下すれば、胃や腸で消化吸収してくれます。

大学の4年間で膨大な量の「知識」を授けられます。これらの知識は一度聞いただけで脳に保存することは難しいでしょう。知識や情報は日々更新されるので、例えば脳にそれらが記憶されたとしても何年も経ずして古くなります。

どれだけの知識を吸収したかでなく、「必要な知識を素早く手に入れること」が問題なのです。必要な知

識の概要を与える大学の講義を全く聴かずに知識収集の方法を知ることは無理なのです。

知識や情報をどこでどのようにして得るかを知り、実行できることが重要です。これが知識を生かす「知恵」なのです。図書館や書店を上手に利用できる能力がこれを可能にします。今日、インターネット検索が加わりました。

図書館や書店へ入ると、そこには種々の分類で、多量の情報が集積されています。日頃図書館や書店を何となくでも覗いて、そこにある情報を眺めておくことで、必要なときに検索が容易になります。

何かのテーマに関心を持ち、図書館や書店でテーマに関してより深い情報を得る経験をすることで「自分にはあるテーマについてはちょっとうるさい」と言える面白い人に成れます。いつも幾分内容の濃いテーマについてより深く考えている人は美しいものです。それは「背伸び」ということでしょう。背伸びをすることは緊張を自らに強いることですね。これが良い「知恵」を得る最良の方法であると思います。



## 私のお薦めの一冊

社会科学教室 市川 哲

### 『小説 日本婦道記』を読んで



時代小説というと英傑が登場しそうだが、山本周五郎の小説の場合、『小説 日本婦道記』を含めてそうした人物が登場することはない。描かれるのは極めて日常的な生活であり、また社会のどこにでもいるありふれた人々である。

というのも歴史の表舞台の出来事ではなく、市井の人々がどういう悲しい思いをしたのか、その悲しい思いの中からどういうことをしようとしたかを探求するのが「文学の仕事だ」と周五郎が考えていたからだ。直木賞に選ばれ、それを辞退したこの本も江戸時代に生きる女性をきめ細かに、しかもリアルに書き込んだそんな作品の一つである。

かつて『ちいさこべ』や『赤ひげ診療譚』を読んだ私がこの本を読みたいと思ったのは山折哲雄氏の対談記事がきっかけだ。氏は講演で人間関係や家庭、親子

問題で悩む人々にこの本を薦めているという。そして、それは「必ずここに日本の家族が苦しむ問題の解決策があると確信している」からだという(『京都新聞』1999.8.18)。

この本は昭和18年から19年にかけて婦人雑誌に連載された11編を集めた短編集である。その中の「風鈴」では、良家へ嫁いだ妹たちの善意が姉の心に平凡でつましい日常生活への懐疑を抱かせる。しかし、食禄の良い要職を勤められた夫が「暖衣飽食」の生活よりも「死ぬときには、少なくとも惜しまれる人間になるだけの仕事をしてゆきたい」と語るのを隠れ聞いた主人公は「少なくとも良人や子供にとってかけがえのない者にならなくては」と「生き甲斐」をつかみ取る。

他の編からも封建時代に生きる女性の忍従がまず目に飛び込むが、われわれが読みとるべきはそこに隠された、日常生活に根をはった女性の生き方の強さと美しさだろう。親子、夫婦、嫁姑、嫁舅、師と弟子、主人と使用人などの様々な人間関係の中に描かれる、一途な生き方とそれに寄り添いつつ共感する身近な人の心を、読者自身がくみ取ることができるならば現代の家族がかかえる問題の解決方向も確かに見えてくるのかもしれない。



# 「Global standard の波」

## 特集 I

整形外科教室

勝見 泰和

厚生省の速報では98年度の健康保険組合の赤字は前年度に比べて3.5倍1020億圓に拡大したと報告されている。今後、どのような医療改革が実施されるのであろうか。日本の医療制度は戦後結核をはじめとした感染症の予防・治療を最大の目標とし、全国一律・平等の原則の下で医療を提供してきた。しかし経済が発展し、高齢化が進むと、感染症よりも慢性病のほうの比率が高まってくる。米国で教育を受けた医療経済学者は、このような状況下では現在の社会保険制度での医療は非効率となってくると述べている。具体的には2つのモラルハザ-トが起こる。ひとつは病気になって

も一部の負担だけで済むので、予防することを怠る。もうひとつは負担が少ないのでちょっとした病気でも大病院にかかる。これらのモラルハザ-トを防ぐためには現行の出来高払いの医療保険制度を米国のような会員制健康医療団体のような組織か民間の保険に移行するのがよいというのがその学者の結論である。医療分野には特殊な規制が数多く存在し、医療提供者が互いに競争することが少ない。医療情報の開示やインフォームドコンセントは、個人

的には賛成である。しかしながら、この地区の人のよいおじいさんや、おばあさんの診療をしていると、もうすこし時間を下さいと言いたくなる。

このような米国が発する global standard の波が、方向性を見出せない日本に容赦なく押し寄せている。米国には経済哲学に裏付けられた合理性がある。この経済哲学の源は聖書のマタイの福音書25章「タラントの話」にあるらしい。主人は各人のタラント（能力）に応じて5タラント、2タラント、1タラントをしもべに預け、旅にでる。5タラント預かった者は、すぐに行って、それで商売をして、さらに5タラントもうけた。同様に、2タラント預かった者も、さらに2タラントもうけた。ところが1タラント預かった者は、

出て行くと、地を掘って、その主人の金を隠した。主人が帰ってきて彼らと清算をした。5タラントと2タラント預かった者は倍にして主人に返し、主人から喜ばれ、たくさん物を任せられた。ところが1タラント預かっていた者はそのまま地に隠した1タラントを主人に返して、主人から叱られ、1タラントを取り上げられた。だれでも持っている者は、与えられて豊かになり、持たない者は、持っている者までも取り上げられるという話である。もちろんこの話の解釈の正論は別にあるが、アメリカ人の経済哲学のしたたかさを考えると妙に頷いてしまう。人は生まれながらにして一見不平等である。財力、知力、体力、容姿などで恵まれた人がいるが、だれでも少しは賜物を持っている。

私が見てきたアメリカ人は労働の喜びを知っており、勤勉であった。

さて日本人の将来のビジョン？という直ぐには出てこない。将来に対する不安ばかりがマスコミをにぎわしている。戦後50年勤勉な日本人は力いっぱい走りぬいてきて、今その日本人の心にあるものは何だろうか？ 決して心が豊かになったとはいえない。いかなる時

代の流れにも左右されない絶対的な信頼できるものがない。常に他人との比較という基準によって自分を見る。5タラント与えられた者も2タラント与えられた者も自分に与えられた賜物をよく知っているから用いることもできた。しかし自分がどういう者が知らなければ、心を満たされることも喜ぶこともない。今、日本人の心は不安定な状況のもとでゆり動かされ、今まで見なくても考えなくても曖昧なままやってこられたのが、問題の核心を直視せざるを得ない所まで追い詰められている。個人が変われば、国が変わる。日本の将来は決して落胆すべきでないと思う。





# 鍼は道楽？

## 特集Ⅱ

東洋医学基礎教室

篠原 昭 二

### 【医学との出会い】

ニキピだらけの紅顔の少年が、親元を遠く離れて下宿生活を始めたのは、今から25年前になる。当時の鍼灸は、「盲人の職業」としての認識が一般的で、世間の目も今ほど温かいものではなかった。学業や一人暮らしの生活など、不安の渦巻く中で新たな学生生活は始まった。しかし、解剖学や生理学をはじめ、医学に関わる授業はとても楽しいものであった。小指や手首も動かしてみる。すると、いろんな筋肉がピクピクとうごめき始める。解剖学の分厚いテキストを横に置きながら、いろんな筋肉や神経について学ぶことができる。細かいところまで、みんな名前が付いている。試験の時は大変ではあるが、毎日の学習は新たな感動で一杯になる。授業はとても楽しみであった。そんな楽しみな授業を寝てばかりいる友達もいた。一向に興味がないのだという。卒業したら勉強するのだともいう。また別の友達は、そんな細かいことなんか臨床では必要ないのだともいう。がしかし、人間の作りの巧妙さを知るにつけて、人体の不思議はとても楽しみであった。中でも、鍼を刺すようになると、もっと興味があわいてきた。

### 【身体に吸い込まれる鍼】

友達が細く尖った鍼を僕の手に刺入する。痛いときもあるが、全く痛くないときもある。ドーンと押され、ズシーンとひびき、ビリビリと走り、重だるくくすぐられる。同じように鍼を刺してもその味わいは千差万別である。筋膜か、筋肉か、神経か、骨膜か・・・どこから、どこへ向かって、どれ位刺すと、どんなひびきが走るのか？ トゲのような針が刺さっても痛くないということ自体が、くすぐったいような、面はゆいような不思議さにとても興味をそそられる。鍼はとても楽しい。鍼はとても興味深い。身体のいろんなところに刺すことを習った。恐る恐る刺してみる。鍼は、スーと入っていく。ときには、涙が出るほど痛いこともあるのはなぜだろう？全く感じないで入っていくときは、神経に触れていないのだろうか？鍼は血管を避けると誰かが言っていた。「なるほど！」と妙に感心してしまった（そんなことはあり得ないが）。ここから鍼灸遍歴は始まった。

### 【片っ端から刺しまくる】

友達、下宿のおばさん、喫茶店のママさん、居酒屋のおっちゃん、アパートの子供、近所の赤ん坊、手当たり次第に鍼をしまくった（もちろん本人の了解を得ての話であるが）。いろんな研究会にも顔を出した。北辰会の藤本蓮風師との出会いも学生時代であった。ところが、思うようには効いてくれなかった。脈も必死になって診まくった。結局、脈も分からず、ツボも分からず、気の動きもつかめないまま、闇雲にたくさんの鍼をしまくっていた。今思えば患者さんには気の毒をしたなあと思う。しかし、ただ闇雲に鍼を刺しても上手区ならないことが分かってきた。それぞれに脈を診るコツ、鍼を刺すコツ、気をうかがうコツがあるのだと。

### 【古典との出会い】

『靈枢』九針十二原篇に、「気至れば効あり」とある。ほんとかなあ？ 気の動きも、ツボも、脈もつまるところ、みんな古典をベースとしている。学校では古典は習わなかった。だから友達と難経の輪読をやった。さっぱり分からなかった。素問も読んだ。でもやはり意味不明！ ところが、年数を重ねるたびに、古典に書いてあることが理解できるようになってきた。すると、気の動きやツボの意味も分かるようになってきた。そうなんだ、古典は技術書だったんだ！ 技術がなくて読んでもちんぷんかんぷん。でも、少しづつ読んでいくうちに、技術のレベルに呼応して古典も理解できるようになってきた。

### 【鍼灸師の条件?!】

すごく頭のいい友達、すごく器用な友達がいた。学生時代とてもうらやましかった。でも流行らずに別の仕事を始めちゃった。

自分はけして頭がいいわけでもない。器用なわけでもない。でも鍼が好きで、鍼が面白くて、鍼を学ぶことも楽しかった。鍼の道に進んで良かったと思う。好きなことをして生活するのだから、「道楽」だ。でも、もっともっといろんなことが知りたい。もっともっと上手になりたいと思う。そうすると、「極道」かなあ？

# 《新着東医系図書及び医学系視聴覚資料一覧》

(平成11年11月～12月収蔵分)

書名	著者名等	出版社
中国刺絡鍼法 Essentials of Chinese acupuncture.	譚 徳福, 郭 劍華等	東洋学術出版社 Foreign Languages Press.
手のツボ・足のツボ 心と体を癒す	秋元 恵実, 千田 純子	新星出版社
あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家試験問題解答集 (平成12年)	あん摩マッサージ指圧師, 鍼灸師教育研究会	桐 書 房
鍼・灸・整体・カイロプラクティック 治療所ガイド 東京都内23区版	治療所ガイド編集部	ピーアールデスク
鍼・灸・整体・カイロプラクティック 治療所ガイド 横浜・川崎・湘南版	治療所ガイド編集部	ピーアールデスク
図解 簡明針灸脈診法 一胃の気の脈診一	藤本 蓮風	緑 書 房
スポーツ鍼治療マニュアル	福林 徹, 宮本俊和	南 江 堂
良導絡療法 一基礎と臨床一	後藤 公哉	エンタプライズ
アーユルヴェーダマッサージ	ハリシュ・ジョハリ著	フレグランスジャーナル社
黄帝内経明堂 一鍼灸経穴学原典の臨床応用一	北里研究所	北 里 研 究 所
健康つぼ体操 NHK	邱 淑恵, 輪嶋直幸指導	日本放送出版協会
第2回～第6回 詳解・国家試験問題集 '99 あん摩マッサージ指圧師・はり師きゅう師用	明治東洋医学院編集委員会	医 道 の 日 本 社
第3回～第7回 詳解・国家試験問題集 2000 あん摩マッサージ指圧師・はり師きゅう師用	明治東洋医学院編集委員会	医 道 の 日 本 社
患者からのこんな質問 Q&A 鍼灸篇 一患者を不安にさせないコツを教えます一	小川 卓良	医 道 の 日 本 社
電気鍼・TENS・レーザー鍼療法の実際	廖 登稔	医 歯 薬 出 版
手と足のツボ刺激療法 (大活字 [よく効くツボ] シリーズ)	三心堂出版社	三 心 堂 出 版 社
元気な体をとりにどすツボ 一1日5分で不快な症状を解消!一	佐々木邦男	パッチワーク通信社
人体ツボ痛みをとる秘法 一ゆがみを治せば痛みはとれる!一	佐藤 久三	ナ ツ メ 社
Acupuncture, a comprehensive text.	Shanghai College of Traditiona	Eastland Press
鍼灸臨床生情報 一追試してみたい疾患別症例集1一	代田 文彦 編 玉川病院生情報会	医 道 の 日 本 社
鍼灸臨床生情報 一追試してみたい疾患別症例集1一	代田 文彦 編 玉川病院生情報会	医 道 の 日 本 社
ピワ葉“話灸”療法の秘訣	津野晃玄斎	星 雲 社
鍼灸特効穴一発療法 一堀切流鍼灸の神髄一	山本 敏男	源 草 社
フジタマキのリフレクソロジー 一足裏の不思議に魅せられて一	藤田 真規	舵 社
歪みを治せば身体は変わる	飯田 栄市	文 芸 社
筋筋膜リリース・マニュアル	Carol J. Manheim	医 道 の 日 本 社
くすりの手 一韓国の民衆健康療法一	文 益煥	新 幹 社
あした、キレイになる! 一気持ちよくやせるツボと整体の本一	中山 隆嗣	BABジャパン出版局
「つらい・痛い・治らない」ならCR療法	芝崎 義夫	メ タ モ ル 出 版

死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	1 死を見つめる	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	2 悲嘆のプロセスのなかで	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	3 伴侶を喪う前に	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	4 死への恐怖を乗り越える	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	5 自分自身の死を全うする	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	6 さまざまな死に学ぶ	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	7 「死」についての生涯教育 1 幼児から青少年のために	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	8 「死」についての生涯教育 2 大学生・中高齢に向けて	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	9 今、世界のホスピスでは	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	10 日本のターミナル・ケア	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	11 死とユーモア	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
死とどう向き合うか アルフォンス・デーケン	12 死にまざる生命	アルフォンス・デーケン	NHKソフトウェア
今日の診療 CD-ROM Vol.8 for Macintosh			
基本的身体診察法 1	全身状態の観察とバイタル・サイン、および上肢の診察	伴 信太郎	医学書院
基本的身体診察法 2	頭頸部の診察	伴 信太郎	メディカル情報センター
基本的身体診察法 3	胸部の診察	伴 信太郎	メディカル情報センター
基本的身体診察法 4	腹部と下肢の診察	伴 信太郎	メディカル情報センター
基本的身体診察法 5	神経系の診察	伴 信太郎	メディカル情報センター
MRI of the brain and spine. CD-ROM			
デジタル指圧 CD-ROM Windows 3.1/Windows 95/Macintosh			
看護婦のための PS Part1 ベッドサイドでの心配り			
看護婦のための PS Part2 さまざまな患者さんの心を知るために			
心臓病 (ビデオ・リハビリテーションシリーズ)			
Principles of neurology. 6th ed. CD-ROM			
片麻痺 (ビデオ・リハビリテーションシリーズ)			
Neurological surgery. 4th ed. CD-ROM			
老人の骨折 (ビデオ・リハビリテーションシリーズ)			
交通事故後遺症 (ビデオ・リハビリテーションシリーズ)			
褥瘡 (床ずれ) (ビデオ・リハビリテーションシリーズ)			
OECD health data 98.-A comparative analysis of 29 countries.-CD-ROM			
医師のための PS 患者サービスの質の向上をめざして 2 入院患者編			
医師のための PS 患者サービスの質の向上をめざして 1 外来患者編			
操体法の実際 1 全症状共通 一体の歪みの診断と治し方一			
操体法の実際 2 症状別の治し方 (上)			
操体法の実際 3 症状別の治し方 (下)			
操体法のすすめ 一あらゆる病を元から治す一			
冷えとり健康法 一万病を治す一			
ダンベル体操 1 健康増進効果編			
ダンベル体操 2 上手なやり方編			
操体体操 1 日常健康増進編			
食べて治す医学大事典 CD-ROM Windows 98/95 & Windows NT4.0 対応			
		Scott W. Atlas.	Lippincott-Raven
		浪越徳治郎	T D K コア
		医療・衛生問題研究会	選択エージェンシー
		医療・衛生問題研究会	選択エージェンシー
		竹内馬左也	ビデオジャポニカ
		Raymond D. Adams, Maurice Victor, Allan H. Ropper.	McGraw-Hill
		松村 秩	ビデオジャポニカ
		Julian R. Youmans. (ed.)	W. B. Saunders
		林 泰史	ビデオジャポニカ
		荻島 秀男	ビデオジャポニカ
		鎌田ケイ子	ビデオジャポニカ
			O E C D
		岩崎 榮 監修 尾藤 誠司 指導	選択エージェンシー
		岩崎 榮 監修 尾藤 誠司 指導	選択エージェンシー
		小崎 順子 解説等	農山漁村文化協会
		小崎 順子 解説等	農山漁村文化協会
		小崎 順子 解説等	農山漁村文化協会
		小崎 順子 解説等	農山漁村文化協会
		進藤 義晴 指導等	農山漁村文化協会
		鈴木 正成 監修等	農山漁村文化協会
		鈴木 正成 監修等	農山漁村文化協会
		矢上 裕 解説等	農山漁村文化協会
			ア ス キ ー

# 〈図書館からのお知らせ〉

## 図書館のホームページの開設

昨年来より、関係者の協力を得ながら準備を進めて参りました、図書館データベースの検索システム、「情報館」インターネット検索システム)の導入にともない、2000年1月から図書館のホームページを開設しました。

図書館からのお知らせや、図書のデータベース等の検索が、学内ランから、いつでも、簡単に出来るようになりましたので、ご利用ください。

(URL) [http://www2.meiji-u.ac.jp/uni\\_libr](http://www2.meiji-u.ac.jp/uni_libr)

## 図書選定申込み方法

- 1、選定申込みを希望する図書が、当館に所蔵されていないか蔵書検索でご確認下さい。
- 2、メール (uni\_libr) または、図書選定申込み書に、書名・著者名・出版社を略さず、正確に記入して受付にお申し込み下さい。なお、ISBN (国際標準図書番号) が分かれば、これだけ記入して頂いても結構です。但し、何れの場合も、洋書については、主題の要旨を必ず記入して下さい。
- 3、選定された図書につきましては、発注Noを付記し、メール等で連絡致します。

## 図書・雑誌の無断帯出の注意

平成11年度の蔵書点検等で、図書97冊、雑誌2冊が無断帯出になっています。

図書館資料は、皆が利用する大切な大学の資産です、無断帯出は厳禁です。心当たりのある方は、至急返却して下さい。

## 館内持ち込み等について

筆記用具以外の館内持ち込みは、原則禁止です。閲覧上どうしても持ち込みが必要な場合については、現在、許可制(入退館時に必ずチェックを受ける事)をとり、便宜を図っていますが、(図書館から借りている図書やコピーをする持ち込み資料も同様)これらのルールを守らない利用者もいます。今後、無断帯出防止の件も含め、図書館の快適な利用環境作りを目指して行きたい思いますので、ご協力の程よろしくお願いします。

## 外国雑誌の新規購読及び購読中止について(2000年1月から)

### \* 新規購読

J. Bone & Joint Surgery (1988.1~1999.12 のバックナンバーは、ユニットから移管済み)

### \* 購読中止

Am. J. Obstetrics & Gynecology.  
Anatomy and Embryology.  
Cancer.  
Physiotherapy Index.  
Developmental Immunology.  
European Archives Otorhinolaryngology.  
Hepatology.  
J. Personality Assessment.  
Pharmacological Reviews.  
Current Contents on Diskette.

## 平成10年度の蔵書現況 ( ) の数は外国書で内数。

平成11年3月31日現在の蔵書冊数は、47,342冊となり、昨年より1,557冊の増。

その内訳は、一般図書 36,144冊 (8,544)、点字図書 1,404冊、製本雑誌 8,920冊 (4,502)、視聴覚資料 874点 (92)。

雑誌タイトル数は、学術雑誌 182タイトル (87)、一般雑誌 19タイトル (1)、計 201タイトル (88)。

## 平成10年度 利用者区分別貸出件数

(人数は延べ数)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	院 生	卒 研 生	その他	教職員	小 計	
10年度	人数	609	881	401	613	166	222	30	204	3,126
	%	19	28	13	20	5	7	1	7	100
	冊数	902	1,130	555	933	379	526	51	561	5,037
	%	18	22	11	19	8	10	1	11	100
9年度	人数	688	699	454	775	190	110	54	195	3,165
	%	22	22	14	24	6	3	2	6	100
	冊数	1,014	974	627	1,092	448	243	99	580	5,077
	%	20	19	12	22	9	5	2	11	100



## 編集後記

時間は途切れることなく流れていますから、西暦2000年といっても自然界の時間の経ちかたが変わるわけではありません。でも、人の世界では、区切りをつけることで、過去を振り返って反省し、新たな気持ちで未来へ向かって進むという儀式が必要なのではないでしょうか。

執筆して下さった先生方の原稿には、今、もう一度原点に戻って考えてみようという姿勢が読み取れるように思うのです。大切なものは何なのか、ものごとの本質は何なのか、時には立ち止まって自分の心をのぞいてみることも大切です。(k.k)

<写真協力：写真部>